

**腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）  
の施設基準に係る届出書添付書類**

<b>1 届出種別</b> ・新規届出（実績期間    年    月～    年    月） ・再度の届出（実績期間    年    月～    年    月）				
<b>2 標榜診療科名（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）</b> <div style="text-align: right; padding-right: 20px;">科 科</div>				
<b>3 腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を術者として3例以上実施した経験を有する常勤医師の氏名等</b>				
常勤医師の氏名		勤務時間		腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の術者としての経験症例数
		時間		例
<b>4 常勤の医師の氏名等（小児外科、外科又は消化器外科について専門の知識及び5年以上の経験を有する者2名以上、そのうち1名以上が10年以上の経験を有する者）</b>	診療科名	常勤医師の氏名	勤務時間	当該診療科の経験年数
			時間	年
			時間	年
			時間	年
<b>5 麻酔科標榜医の氏名</b>				
<b>6 当該保険医療機関における総胆管拡張症に係る手術（区分番号「K 6 7 4」又は「K 6 7 4 - 2」（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を含む。）の実施症例数</b>   <div style="text-align: right; padding-right: 20px;">例</div>				

そのうち、腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を含む。）の年間実施症例数	
例	
7 常勤の臨床工学技士の氏名	
8 緊急手術が可能な体制	有                      ・                      無

[ 記載上の注意 ]

- 1 「 1 」は特掲診療料施設基準通知第 2 の 4 の（ 3 ）に定めるところによるものであること。
- 2 「 3 」及び「 6 」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添 2 の様式 52 により添付すること。
- 3 「 3 」及び「 4 」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 4 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。